



発行 三好市議会  
 編集 議会広報編集委員会  
 住所 〒778-8501  
 三好市池田町シンマチ1500番地2  
 TEL 0883-72-7630  
 FAX 0883-72-3494  
 2011(平成23)年2月10日発行

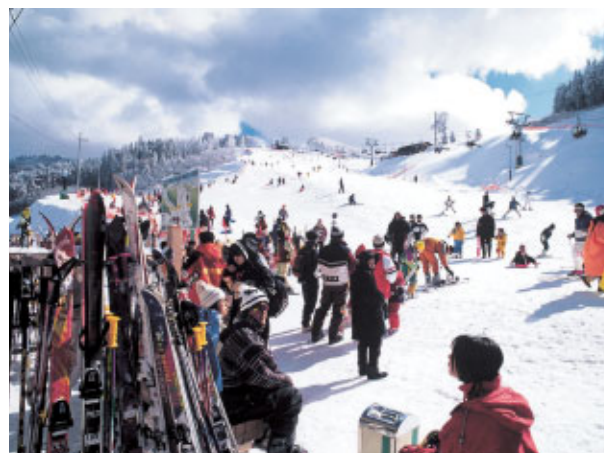
目次

表紙・写真	.....	P 1
議案の審議結果	.....	P 2
代表質問	.....	P 3
一般質問	.....	P 4~P10
意見書の提出	.....	P10
常任委員会報告	.....	P11~P13
編集後記・その他	.....	P14

# 議会だより



落合集落冬景色



井川スキー場 腕山



祖谷のかかし

## 議会のうごき【平成22年10~12月】

### 平成22年 10月

- 6日 徳島県市議会議長会定期総会（美馬市）
- 8日 徳島県西部市議会議長会議員研修会（吉野川市）
- 19日 徳島県立三好病院の分娩再開を求める意見書提出（知事、病院事業管理者）
- 20日 全国市議会議長会研究フォーラムin大分（大分市）（20日~21日）
- 25日 産業建設常任委員会行政視察（鹿児島県）（25日~27日）  
文教厚生常任委員会行政視察（京都府・兵庫県）（25日~26日）

- 18日 全国過疎地域自立促進連盟理事会・総会・シンポジウム（東京都）（18日~19日）
- 24日 四国直轄砂防事業促進期成同盟会後期要望（国土交通省）
- 25日 国道439号京柱トンネル開通促進期成同盟会後期要望（国土交通省）
- 29日 みよし広域連合議会臨時会
- 30日 議会開会・議案説明・全員協議会

### 平成22年 11月

- 9日 総務企画常任委員会行政視察（山口県・広島県）（9日~11日）
- 15日 四国土砂防ネットワーク東京要望活動（議員会館）（15日~16日）
- 17日 四国直轄砂防事業後期要望及び京柱トンネル開通促進期成同盟会後期要望（四国地方整備局）

### 平成22年 12月

- 8日 代表質問・一般質問
- 9日 一般質問
- 10日 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 13日 文教厚生常任委員会
- 14日 産業建設常任委員会
- 15日 総務企画常任委員会
- 16日 観光振興調査特別委員会
- 17日 まちづくり条例検討特別委員会
- 20日 委員長報告、質疑・討論、採決、閉会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
美浪	千葉	中	多田	西内	古井
盛晴	清春	耕司	敬	浩真	孝司

### 三好市議会広報編集委員会

広報編集委員会  
 副委員長 西内 浩真

この輝かしい新年が市民みなさまにとって最良の年となるようお祈りいたします。

地方には地方の政治というものがあります。三好市議会は国内での徳島県、徳島県内での三好市のあり方を考え、市民のみならず三好市で生まれ育った、三好市で住んでよかった、三好市で育つべき「住みよい町三好市」創生のためがんばります。市民のみならずの深いご理解、あたたかいご協力、献身的なご指導を賜りますようお願い申し上げます。

この輝かしい新年が市民みなさまにとって最良の年となるようお祈りいたします。

### 編集後記

新春のお喜び申し上げます。昨年は普内閣が発足し、日本国内をはじめ、徳島県内また、我が三好市においても、さまざまな問題、出来事がありました。市議会も市民生活を第一に、市民の声を市政に！を再認識いたしました。

代表質問

平成22年12月定例会に提出された議案・議決結果は、次のとおりです。

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議案第71号	三好市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	議案第89号	平成22年度三好市特別養護老人ホーム長生園特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第72号	三好市表彰条例の一部を改正する条例について	可決	議案第90号	平成22年度三好市国民健康保険市立三野病院特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第73号	土地改良事業の実施について	可決	議案第91号	平成22年度三好市一般会計補正予算(第5号)	可決
議案第74号	徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称変更に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	可決	議案第92号	平成22年度三好市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第75号	みよし広域連合規約の変更について	可決	議案第93号	平成22年度三好市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第76号	指定管理者の指定について(三好市生活支援ハウス:社会福祉法人山城会)	可決	同意第8号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第77号	指定管理者の指定について(三好市林業活動拠点施設:株式会社山城もくもく)	可決	陳情第7号	桜ヶ丘公園の遊具の整備・池の埋め立て・土壌の入れ替えを求める要望書	採択
議案第78号	指定管理者の指定について(三好市集成材加工施設:株式会社山城もくもく)	可決	陳情第8号	重木蔭地区林道開設事業について	採択
議案第79号	指定管理者の指定について(三好市林業総合センター:三好西部森林組合)	可決	陳情第9号	市道ウマバ学校線の改良について	採択
議案第80号	指定管理者の指定について(サンリバー大歩危:株式会社大歩危温泉)	可決	陳情第10号	くらしを支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情書	不採択
議案第81号	指定管理者の指定について(大歩危観光拠点施設ラピス大歩危:株式会社山城しんこう)	可決	陳情第11号	国立大学法人等の安定的な運営の確保を求める陳情	不採択
議案第82号	指定管理者の指定について(塩塚高原キャンプ場:株式会社山城しんこう)	可決	陳情第12号	大幅増員と夜勤改善で安全安心の医療介護の実現を求める陳情書	採択
議案第83号	指定管理者の指定について(三好市東祖谷いやしの温泉郷:東祖谷観光開発株式会社)	可決	陳情第13号	地域医療と国立病院の充実を求める陳情書	採択
議案第84号	指定管理者の指定について(奥祖谷観光周遊モノレール:東祖谷観光開発株式会社)	可決	陳情第14号	東祖谷地区 西山谷支流の崩壊防止及び早期改善を求める要望書	採択
議案第85号	指定管理者の指定について(三好市池田総合体育館:いけだスポーツクラブ)	可決	発議第9号	三好市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第86号	指定管理者の指定について(三好市井川ふるさと交流センター:株式会社ふるさと夢企画)	可決	発議第10号	大幅増員と夜勤改善で安全安心の医療介護の実現を求める意見書の提出について	可決
議案第87号	平成22年度三好市一般会計補正予算(第4号)	可決	発議第11号	地域医療と国立病院の充実を求める意見書の提出について	可決
議案第88号	平成22年度三好市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決			

○担い手育成総合支援協議会の取り組み状況について  
 ○役割分担を明確にした防災活動と効果的に連携した体制づくりについて



伊丹 征治 (新和会)

【質問】  
 三好市における農林業の状況ととりわけ、農業における耕作放棄地の解消に向けての取組状況及び三好市担い手育成総合支援協議会として、担い手農家の相談窓口が設置されていると聞く。その協議会の組織とその取組状況は。

【答弁】

三好市では、農業委員会、徳島県西部農政局、認定農業者連絡協議会、生活改善グループ連合協議会、阿波みよし農業協同組合、徳島県西部農業共済組合の参加により「三好市担い手育成総合支援協議会」を設置し、担い手農家の相談窓口の開設、経営相談、農地の

利用調整を行なっている。担い手協議会として全体調査の結果をもとに、農地活用意向調査を実施し、農地の活用状況を把握し、農家への農地活用の指導と遊休農地の担い手農家への斡旋に努めている。耕作放棄地解消事業の具体的な取組については、農協自らが地域農業の担い手として「JAアグリサポートセンター」を設立し、農業の受託、遊休農地を借り受け利用権を設定し、耕作放棄地の解消に取組んでいる。

また、県畜産研究所の指導のもと、耕作放棄地における和牛放牧の実証実験を行い、放牧リーダー牛を育成するなど、現在では畜産農家自らが耕作放棄地を借り受け繁殖牛の放牧も行っている。今後共、三好市の農業を守るために「三好市担い手育成総合支援協議会」と共に積極的に様々な課題に取組んでいきたい。

【質問】

災害を最小限に抑えるためには、市民個々の努力、地域での連携、行政の支援を効率よく行う事が重要である。防災活動における自助・共助・公助の役割分担を明確にした防災活動と効果的に連携した体制づくりについて伺う。

【答弁】

市民への災害及び防災情報を伝達する手段としては、音声告知端末、防災行政無線、広報車等がある。その内、音声告知放送及び防災行政無線については、「災害時における情報伝達実施要綱」に基づき、伝達する情報を気象情報、土砂災害警戒情報、避難情報、道路交通情報、地震情報、ダム情報、有事関連情報、安否情報、火災情報の9項目に区分される。放送時期は、即時放送と随時放送があり、即時放送については気象台、内閣府、消防庁、警察庁等の機関から発表された情報を放送し、随時放送については避難勧告時に災害警戒本部または災害対策本部の判断により本部決定事項を放送する。

各自自主防災組織の取り組みについては、各組織において年間計画を作成し、防災講座や初期消火訓練等を実施しており、その訓練等の講師には、消防署員・団員、県及び市職員が出向いて実施している。また、市としても、防災フォーラムの開催や、未組織の地区については「寄りあい防災講座」等を開催し、自主防災組織の必要性、

その役割など、防災意識の高揚に努め、組織結成に取り組んでいる。住宅用火災警報器の設置については、消防法の改正に伴い、既存住宅は平成23年5月31日までに設置するよう義務付けられており、三好市では昨年10月1日から22年3月31日までの間、「三好市高齢者地域見守り活動支援補助金交付事業」により、75歳以上のみの世帯を対象に3千円の購入金額を補助しており1112世帯、対象世帯の約21%が補助を利用して設置した。住宅用火災警報器の設置推進のために、早期の設置を推進しているが、新築住宅や市営住宅への設置等を合わせて、今年の6月時点では、みよし広域連合消防本部の推計で31.3%となっている。

火災警報器設置義務化の市民への周知については「市報みよし」への掲載や移動市長室、自治会長会及び各種会合で説明してきたが、火災による死傷者を一人でも少なくするため設置率を更に向上させ、市民皆様の安全・安心を確保するために、今後もあらゆる機会をとらえて説明や広報を実施する。

○教育現場の現状とその運営・管理について



西内 浩真

【質問】 近年、小中学校の統合がなされているが、子供たちの給食を調理担当している学校給食センターの今後の運営方法はどのような考えなのか。市内9カ所ある調理場のうち、一番古いのは昭和44年10月設置であるが子供たちの食の安全は確保できるのか。

の時期にあることは承知している。今後、児童数や学校の統廃合等を見据えながら、学校給食に求められる役割や、教育効果が発揮できるような環境整備を進めていく。また、現行の配送時間を大きく上回らないよう、栄養職員、配達職員と協議し、安全性第一に今後考えていく。

【再問】 幼稚園、小中学校施設の老朽化や使用によって破損した箇所は、子供たちにとって危険箇所になるが、その場合どのような対処をしているか。また復旧完了までどれくらいかかるのか。

【答弁】 破損が生じた場合、学校長より学校教育課に報告が入り、職員が状況確認を行い、まず子供たちの安全性の確保を第一に修理、修繕を行っている。また、復旧完了については、発注時に作業完了予定時期等を確認し、早急な修理ができて利用者の皆さんに迷惑をかけない形で今後していく。

【答弁】 町村合併後、名頃と菅生の単独調理場を東祖谷共同調理場とし合併した。その他は合併前と変更していないが、食数の減少や休校の増加等で、見直しの必要性が出てきているため、現在配送ルートを含め統合を検討している。池田学校給食センターは築後40年余りが経過しており、建て替え

【答弁】 交流拠点施設整備に関する研究委員会において、交流拠点施設の担うべき役割や機能、施設規模など、詳細な検討を行うこととして

○交流拠点施設整備について  
○銅山川の環境問題について



並岡 和久

【質問】 11月11日の新聞記事によると、船井電機池田工場跡地に、交流人口増の拠点施設として音楽ホールを中心とした多目的施設を約30億円程度で2015年度末までの完成をめざすこととなっている。私の聞いた市民の意見では財政状況の厳しい中、本当に必要な事業かなどの意見がありこの計画に賛成する人は少ない。現在における本事業の概要・進捗状況について伺う。

おり、現在のところ決まっていな  
い。  
【提言】 大きな事業であるので、市民の意見を聞き、理解が得られてから、行うべきである。  
【質問】 吉野川の支流、銅山川への汚水し尿流出による環境問題について、昨年の一般質問後、関係機関とどのような協議をおこなったのか。また、愛媛県四国中央市に対し、今回のし尿流出事故で、指導の徹底を求める要望書を提出しているがその内容について伺う。

【答弁】 愛媛県四国中央市を訪問し、養豚農家に対して適正な営農の指導と、家畜排泄物についての適正な管理を改善指導するよう要請した。徳島県から水質汚濁防止法第7条にもとづく変更届出の提出、汚水処理施設の適正管理の指導徹底、し尿流出事故の再発防止策の策定、愛媛県四国中央市を含む緊急連絡網の整備の4点の改善事項の申し入れをした。

○井川町辻地区の水道水の水質検査報告について  
○ヒブと肺炎球菌ワクチンの助成について  
○農産物ブランド化の取り組み状況について



立川 一広

【質問】 井川町辻地区の水道水の水質検査報告について、「市の広報などで水質検査の結果を公表し水道水が安全安心であるということを知りたい」と考えているが、広報などに一向に水質検査報告は発表されていないがどうなっているのか。

なるインフルエンザ菌ヒブと肺炎球菌のワクチンの接種について、市内には2歳から4歳児まで460人、生後2ヶ月から4才児まで751人いるが、接種費用が高額であるとも聞いている。市は全員の子供達に接種できるように全乳幼児に全額負担する考えはあるのか。

【質問】 市内の農産物ブランド化の取り組み状況の中で三好高校で色々と研究を重ねて売れる商品を開発している。淡水魚ホンモロコとかホンシメジ栽培等々県西部の新しい特産品に期待しているが、農林振興課は今後どのように考えているのか。

【質問】 乳幼児の細菌性髄膜炎の原因と

【答弁】 今後、生産農家、農協、徳島県等の関係機関と連絡を密にし地域に適合した農産物の産地化を進めていきたい。農商工が連携した取り組みについては農商工観の行政の連携組織の立ち上げに向け準備を進めているところである。

○高齢者福祉について  
○生活用水の確保について



西谷 清

【質問】 高齢者・身体障害者等、身体的弱者の利用する市の施設でバリアフリー化・エレベーターが未設置の施設はどの程度あるか。それらの整備計画はあるか。

【答弁】 高齢者福祉施設等も順次改善を図っている。現在、具体的な整備計画のある施設はないが、今後高齢者や障害者が多数利用する集会施設等については、本年度中にバリアフリーに関する要綱等の策定を計画したい。

【再問】 祖谷の歴史館2階の伝承ホールへはスロープもエレベーターもない。車イスの方を数人で階段を運び上げている状態である。エレベーターの設置を検討いただきたい。  
【答弁】 エレベーターを設置する場合、建物の構造計算が必要である。来年度の当初予算に予算要求をして、

その結果を踏まえて今後検討していきたいと考えている。  
【再問】 ぜひ前向きに検討いただきたい。車いすで利用できるトイレも併せて検討いただきたい。  
また、西祖谷の養護老人ホーム若宮荘もエレベーターがない。高齢者施設でエレベーターがないというのは時代にそぐわない。今後の見通しは。

【答弁】 非常に古い施設なので、改修等も難しい。今後、指定管理、民営化も含めて検討していく。  
【質問】 山間部の生活用水の確保については、現在の規則等では対応が難しい。三好市独自の方式を検討したいとの答弁であったが、その案はできあがったか。案ができたのなら新年度当初予算に計上する考えはあるか。

【答弁】 三好市飲料水施設設置費補助金交付要綱の見直しも含めて、新しい方法、対策を検討してきた。新しい交付要綱(案)では、現行制度の補助率をアップし、補助対象についても改良・改善を追加し、給水世帯数についても対象範囲を拡げる計画だ。当初予算に計上し、新年度から実施できるように進めている。



美浪 盛晴

○シカの食害について  
○シヤママ地区開発における埋蔵文化財保護について

【質問】

シカの捕獲について日本共産党県議団は国に要望し、わが党支部も祖谷でシカの被害調査をした。三好市はシカ被害の総合対策を示すべきだ。三好市の猟友会の現状はどうなっているか。シカの捕獲数の実績と問題点は何か。三好市のシカによる農業被害や森林被害は。近く剣山スキー場でシカの捕獲実験をするがこれに市は取り組むのか。捕獲技術の開発や市職員による専門的な対策班をつくり、高知県や周辺市町と連携した対策をとるべきである。

【答弁】

剣山などのシカ食害は想像以上



山子 凱雄

○柴川ダム検証と本市の今後の対応について  
○国の2010年度補正予算の対応について

【質問】

本市の懸案である県営柴川ダムは総事業費80億円、平成9年着工し事業費ペース進捗率は45・38%。政権交代により直轄、補助ダムの中止見直しを決定。県営柴川ダムは検証の対象となり既に県市合同の「柴川生活貯水池検討会」が設置された。今後ダム事業の検証をどのような基準で行い、本市はどのよう対応されるか伺う。

【答弁】

柴川ダムについては県に対し洪水調節流水の正常な機能維持、水道水確保を図るため早期のダム本体着工を要望してきた。国から県に対し柴川ダム検証に係る検討を行う要請があり第1回の「柴川生活貯水池検討会」を開催し本事業の概要及び北部簡水事業概要と今後の進め方を協議し次回回は現地視

察を行い有識者会議が策定した再評価実施要領細目に基づき検証を行う。本市として治水利水の両面からダム事業の重要性必要性を訴え対応する。

【質問】

第176臨時国会で2010年度補正予算が成立。雇用や成長戦略、地域活性化社会資本整備などが組み込まれた。「きめ細かな交付金」及び「住民生活に光をそそぐ交付金」について徳島県分の交付額、24市町村及び本市への交付額は。この交付金を最大限に活かす本市の活性化をどう描いているか。

【答弁】

地域活性化交付金のうち「きめ細かな交付金」は徳島県分17億5577万円、市町村分25億6270万円、うち三好市への交付額は4億151万3千円。「住民生活に光をそそぐ交付金」は徳島県分3億7885万7千円、市町村分4億3174万1千円、うち三好市への交付額は5331万3千円である。

活用方法については住民の要望に応じ「きめ細かな事業展開」を図り光交付金は国よりの詳細な要綱に基づき安全で安心して暮らせる地域社会実現に活用する。



中 耕司

○過疎地域の集落支援策について

【質問】

三好市の過疎地域にある集落においては、人口減少と高齢化の進展に伴い、生活扶助機能の低下、交通手段の不足、空き家の増加、森林の荒廃、耕作放棄地の増加などの重大な問題が生じている。行政が集落の現状に絶えず目配りをし、住民の声を施策に反映させる中で、住民と行政の強力なパートナーシップが形成されることが望ましい。集落支援対策として、総務省では地域おこし協力隊事業、集落支援員制度、アドバイザー招聘事業への取り組みを推進しているが、導入に向けての考え方を市長に尋ねる。

【答弁】

三好市における集落対策は喫緊の課題であり、21年度に三好

市限界集落調査結果報告書を取りまとめたところである。本年度から三好市集落支援対策検討委員会を立ち上げ、支援施策を取りまとめ、来年度から三好市集落支援包括事業として実施していく予定である。

具体的には、生活道の維持管理、生活物資の確保、水源地の管理、有害鳥獣対策であるが、行政が行う支援策だけでは限界があり、そこに住んでいる住民の活性化が必要となる。そこで市としては、議員に指摘された3事業を来年度より導入することとしている。これらの事業の推進については、地域おこし協力隊及び集落支援員を旧町村単位に配置し、アドバイザー招聘事業で、各方面から要望に添った先進的な活動をされている方を対象にして、積極的に活用していく。



○休校及び統合された学校の備品について  
○スクールバスの運行について  
○NPO法人及び各種ボランティア団体について

【質問】

休校・統合された学校の備品処置はどのようにしているのか。また民間に払い下げの考えはないか。



多田 敬

【答弁】

休校・統合された学校の備品は、市内の小・中学校・幼稚園または他の公共施設等への転用を行い有効活用を図っている。また払い下げに付いては、今後の検討課題である。

【質問】

新しくスクールバスを運行す

る場合、運行条件（通学距離、地形、通学時間）等の規定はあるのか。また現在、新しく運行を要望されている地域はあるのか。

【答弁】

運行規定等はないが、休校や統合により、遠距離通学を余儀なくされ民間路線バスの運行されていない地域を運行している。また、新路線の要望地域については現在把握していない。

【質問】

現在市内のNPO、ボランティア団体数はどれくらいあるのか。また活動内容、支援策、人的交流はどのようになっているのか。

【答弁】

現在NPOは11、ボランティア団体は80団体あり、行事協力や環境美化等で活動している。支援策については、サテライトオフィスの企画開催や、NPO、ボランティア相談に取り組み、補助金等審議委員会で支援に取り組んでいる。人的交流は職務上でなく、職員個人として交流をしている。

○交流拠点施設計画と住民投票条例について  
 ○水道未普及地域対策の検討状況について  
 ○政府のTPP参加方針について



平田 政廣

【質問】 本年度末に取りまとめられる基本計画か、実施計画の時点で施設建設について住民投票条例を策定して実施をすべきと思うが市長の所見は。

【答 弁】

各種委員会や講演会等に参加できない市民にも意見、提言の場を設け、行政と市民の協働の仕組みが担保されると認識しており、現時点では住民投票条例を策定し実施する考えはない。

【再 問】

隣の四国中央市での施設計画が80億円と言われているので、四国中央市の方に引っ張られるのではないかと。住民投票条例を取り組むことで四国中央市の建設計画に負けな

いものになるのではないかと。

【答 弁】

合併後から理解や賛同を得て、予算計上もしながら懸命に今取り組んでいる最中である。今すぐ住民に賛成か反対かを聞く住民投票条例はなじまない。

【質問】

水道新基準ほどの程度拡大されたか内容を具体的に答えられたい。

【答 弁】

新要綱案では施設設置の場合補助率は精算額の2分の1以内から3分の2以内に、改良修繕は2分の1以内に、給水世帯数は3世帯以上から2世帯以上に対象範囲を広げ、実施は受益者とし新年度から実施したい。

【質問】

TPP参加について県内の農林水産業の産出額が329億円減少すると言われているが、三好市の農林水産業にも何らかの影響があるのではないかと。

【答 弁】

三好市も地域経済の疲弊が続いており土木業者の弱体化、観光客の減少、消費の落ち込みなど大きな影響があった。このような状況を踏まえTPPを含む包括的経済連携について政府の対応状況を今後とも注意深く見守りたい。

○地域資源の発掘と利活用につなぐ  
 ○鳥獣被害対策の強化について



吉田 和男

【質問】

地域の活性化は必要不可欠であり、地域を醸成しそれを反映させることが諸施策の根幹をなすものと考えられる。

【答 弁】

本市は「地域資源」の宝庫であり、そのカテゴリーは広範多岐に亘り、人であり、ものであり、自然や文化・歴史等有形無形を問わず多種多様である。

既存の概念に捉われない柔軟な発想や転換・アイデア等が必要であり、地域資源の循環やネットワーク化を図り、地域の活力としての「地域力」の増幅や市民の夢と希望の実現に向けて、この「地域資源」をどのように捉えているか。また、あらゆる角度から調査研究する総合的かつ専門的委員会等設置の意向はあるのか。

【再 問】

歴史的風致維持向上計画では地

域の活性化と魅力あるまちづくりを推進することにしており、自然や景観はもとより文化財・歴史的文化、地域の人々が暮らすとともに育んできた風習や生活習慣、そしてそれらを今に受け継ぐ地域の人々が資源と考えている。

その地域でしかできない住民との交流や体験できる受入地主導型の着地型観光への取り組みが重要で、にし阿波観光圏の認定を受け広域での連携した事業を官民協働で実施している。

【再 問】

新年度、観光庁の観光地域づくりプラットフォーム事業の支援を受け、魅力ある地域の実現を図りたい。

【答 弁】

専門委員会等は明年から国の支援に基づき、まちづくり事業を本格的に取り組み中で研究したい。

【質問】

昨今のシカ、イノシシ、サル等鳥獣被害は目に余るものがあり、中山間地域における状況は耐え難い。国県ともタイアップし創意工夫を凝らし強力かつ積極的対策、取り組みが必要。現在までの状況と実効果を分析し、どのように前向きに対処されるのか。

【答 弁】

被害状況と有害鳥獣の生態・習性把握に努め、適正な有害捕獲を行う。また、地域ぐるみや集落単位の取り組みが不可欠であり、指導啓発や地域相談員の育成等により被害の軽減予防に努めたい。

○入札について  
 ○指定管理施設の備品について  
 ○地域福祉計画について  
 ○父親家庭の保育料について  
 ○緑の分権改革について



天羽 強

【質問】 総合評価落札方式の入札を3年ぶりに行った理由と評価項目は。

【答 弁】

設計金額、工事概要等を考慮して実施。特別簡易型を採用。主な評価項目は、企業の施工実績、地域貢献、配置予定技術者の能力等。

【再 問】

三好市で初めての一般競争入札対象工事1億5000万円以上、地元企業育成なら総合評価一般競争入札を導入すべきだ。

【答 弁】

試行的に取り入れた。県内を参考に、議決に付すべき契約額で設定。総合評価一般競争入札は今後研究・検討したい。

【再 問】

設計金額の事前公表は業者の見

積もり努力を損なわせないか。

【答 弁】

国の指針では事前公表の実施は弊害が生じると規定。適切に対応したい。

【質問】

指定管理者の購入した備品の所有権は。処分は可能か。現場での備品管理は。

【答 弁】

購入の際、所有権の帰属も協議。処分可、但し事前協議要。指定管理者において整理されている。

【質問】

地域福祉計画の進捗管理と住民参加による評価体制は。

【答 弁】

本年度は計画の折り返し、来年度に実施したい。

【質問】

保育料の算定は父親家庭も母親家庭と同様に取扱いすべきだ。

【答 弁】

児童扶養手当の父子家庭への支給という理念はわかるので、検討したい。

【質問】

緑の分権改革推進事業とは。徳島小水力利用推進協議会に対するスタンスは。

【答 弁】

三好市モデルの実証調査に取り組んでいる。協議会への参加は事業の推移を見守りたい。

○TTC問題について



高井マサ代

【質問】 船井電機跡地を交流プラザにする計画があるが、エコプラザかどうか。

【答 弁】

池田町大利にあるリサイクルプラザで資源物が集められている。今後とも資源物の分別を推進するため、広報誌の掲載、ケーブルテレビの活用、自治会や学校で説明会を行う。

【再 問】

三好市の焼却施設は、何日間連続して燃やしているか。多摩市では、3カ月連続して燃やしている。ダイオキシンは燃やし始めに多く出る。美馬、吉野川市、阿波市も含めた広域連合で焼却施設をつくることはできないか。

【答 弁】

ごみ焼却場は現在、日本には1490カ所あり、アメリカは16

8カ所、フランスは100カ所。みよし広域連合の施設は、昭和56年に稼働して、旧8カ町村のごみを燃やしているが、焼却時間は午前9時から午後10時までの13時間である。施設は30年経過しており、機械設備や装置の老朽化で維持修繕の経費は増大している。検討する時期だ。

【再 問】

多摩市では、溶融炉を建設し、焼却灰を10分の1にしている。建設費は270億円、毎年の維持費が26億円だが、三好市でも資金は四国全土と岡山県や大阪府などから集められると思うがどうか。

【答 弁】

三好市にはリサイクルプラザに併設された最終処分場で処理しており、平成12年度に建設された5万立方メートルの埋立容量の施設を保有している。

【再 問】

職がないと言われるが、ペットボトルをベレットにする工場など、ごみ関連の企業誘致に取り組む考えはないか。

【答 弁】

ベレット状にする事業場は、四国内には数社で、需要も供給もないのが現状である。

文教厚生常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第76号	指定管理者の指定について	可決
議案第85号	指定管理者の指定について	可決
議案第86号	指定管理者の指定について	可決
議案第87号	平成22年度三好市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第88号	平成22年度三好市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第89号	平成22年度三好市特別養護老人ホーム長生園特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第90号	平成22年度三好市国民健康保険市立三野病院特別会計補正予算(第1号)	可決
陳情第11号	国立大学法人等の安定的な運営の確保を求める陳情	不採択
陳情第12号	大幅増員と夜勤改善で安全安心の医療介護の実現を求める陳情書	採択
陳情第13号	地域医療と国立病院の充実を求める陳情書	採択

文教厚生常任委員会報告



委員長 大黒慎一郎

12月13日、委員会が開催され、市長提出議案7件、陳情3件について審査し、陳情1件を除く提出議案は全て原案のとおり可決・採択すべきものと決定しました。

池田総合体育館だけではなく、旧池田町内の小中学校の体育館、グラウンドと、社会体育施設のすべてを一括して受付業務を行っている。受付窓口は、行政側は教育委員会スポーツ健康課だが、池田総合体育館にいけだスポーツクラブの窓口があり、そこで受付をして

**【問】** 指定管理先のいけだスポーツクラブの業務内容について。池田総合体育館を利用する場合の受付窓口はどこか、また会費はいくらか。

●議案第85号について

**【答 弁】** 12歳以下の子供に関しては、以前は高齢者と同じく予防接種法に規定があつて、それに基づき小学生、中学生についても接種を実施

**【質 問】** 新型インフルエンザ予防接種が10月1日から始まったが、65歳以上の高齢者は通常1回の接種で十分であるが、12歳までの子供は2回の接種を勧められている。少子高齢化が急速に進む中、65歳以上の高齢者については接種料金が4千円で、半額の2千円は公費負担で接種できるが、12歳までの子供は2回の接種で6千150円の自己負担となる。12歳までの子供にも高齢者と同じように公費負担ができないか。



古井 孝司

○新型インフルエンザ予防接種について  
○税の申告等について

していた。接種率は80%ぐらいであった。児童のインフルエンザ流行を阻止できなかったために、接種を受けるかどうかは個人の判断にゆだねられる任意接種となり、予防接種法から除外された経緯があり公費助成はできない。今後については、国の助成制度や周辺市町村の実施状況、市の財政状況等を考慮しながら検討する。

**【質 問】** 年明けから所得申告が始まるが、市民から合併前の申告受付場所での申告できないかとの意見がある。その声にごつ答えるか伺つ。

【答 弁】

合併後の平成18年度以降は、本庁及び総合支所の6カ所において実施している。交通の便などによつては、申告会場の減少により距離的に遠くなる場合もあるが、申告期間が過ぎても申告は可能である。



○「徳島県立三好病院の分娩再開を求める意見書」の提出について

平成22年10月19日に三好市議会議員、副議長、文教厚生常任委員長が徳島県庁を訪問し、徳島県知事、徳島県病院事業管理者に次のとおり意見書を提出しました。

「徳島県立三好病院の分娩再開を求める意見書」

三好市においては、平成21年3月、徳島県立三好病院において分娩を休止して以降、市内で分娩ができる施設がなくなり、市内の妊婦が市外や県外への長距離通院を余儀なくされている。市民からは、安心して出産が出来る体制づくりを求める声は多く、三好市における周産期医療体制の確立は急務である。



三好病院の分娩再開を求める意見書提出(10月19日)知事

今回の三好病院改築に合わせ、西部地域の拠点病院として担うべき医療機能を話し合う「三好病院整備方針検討委員会」の方針で、「分娩スペースを整備して産科医確保に努める」とし、医師が確保できるといふ方針を示しているが、早急に医師確保に努めていたとき、地域の拠点病院である三好病院の周産期医療体制を充実することは三好市民の願いである。

よつて、本議会は、徳島県立三好病院において分娩再開を強く求めるものである。

いる。また、個人の会費については、高校生から60歳未満は年間6千円、小中学生は年間2千5百円、60歳以上の方は年間3千円となっている。

●議案第87号について

**【問】** 衛生費、保健衛生費、保健衛生総務費で医師視察招待事業46万4千円について。

**【答 弁】** 医師不足に悩む本市は、地域医療に関心のある全国の医師に市内へ視察に訪れてもらう費用を負担するものである。市が負担するのは、本人と家族2人分までの旅費や宿泊費1泊分であり、視察に訪れた医師には、地域医療の現状や生活環境を説明し、市立三野病院や市立西祖谷診療所などを視察してもらつこととしている。

**【問】** 教育費、社会教育費、社会教育総務費で、休廃校に残っている文書の整理保管、データベース化を図る上で嘱託員及び臨時職員を雇

用するとのことだが、どういふ方を予定しているか。また、文書整理の進捗状況は。

【答 弁】

嘱託員1名及び臨時職員4名予定している。業務内容として嘱託員については、古文書等の専門資料の整理。臨時職員については、文書管理のデータベース化に伴う一般事務の整理である。進捗状況については、昨年度から整理を行つており、旧池田町内の古文書的な整理については約8割できている。

**【問】** 旧町村別の状況は。

**【答 弁】** 各総合支所の書庫に保管している文書について、まずデータベース化を行い、保管場所においても可能な限り一箇所に収集したい。

●陳情第11号について

「国立大学法人等の安定的な運営の確保を求める陳情」について、反対、賛成討論があり、起立採決の結果、起立少数により不採択すべきものと決しました。

総務企画常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第72号	三好市表彰条例の一部を改正する条例について	可決
議案第74号	徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称変更に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	可決
議案第75号	みよし広域連合規約の変更について	可決
議案第87号	平成22年度三好市一般会計補正予算(第4号)	可決
陳情第10号	くらしを支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情書	不採択

12月15日、委員会が開催され、市長提出議案4件と陳情1件について審査し、陳情1件を除く提出議案は全て原案のとおり可決すべきものと決定しました。



委員長 伊丹 征治

総務企画常任委員会報告

●議案第72号について

【問】表彰条例の国の基準はどこにあるのか、全国の自治体で、基準に沿った形での改正が行なわれるのか。

【答】国の基準に沿った改正といたことで提案しているが、国と比較し三好市のほうが表彰対象となる在職年数が長期となっているため、国の基準より表彰対象在職年数を下げるための改正である。表彰の基準は、個々の自治体の判断であり国の基準をもとに全国一律に改正するものではない。また、国の基準については、叙勲の推薦基準として定められている。

●議案第87号について

総務費、総務管理費、企画費、JR無人駅活性化モデル事業補助金について

【問】大歩危駅が平成22年10月1日より無人化となり、無人化後の活性化を地域でするための事業

産業建設常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第73号	土地改良事業の実施について	可決
議案第77号	指定管理者の指定について	可決
議案第78号	指定管理者の指定について	可決
議案第79号	指定管理者の指定について	可決
議案第80号	指定管理者の指定について	可決
議案第81号	指定管理者の指定について	可決
議案第82号	指定管理者の指定について	可決
議案第83号	指定管理者の指定について	可決
議案第84号	指定管理者の指定について	可決
議案第87号	平成22年度三好市一般会計補正予算(第4号)	可決
陳情第7号	桜ヶ丘公園の遊具の整備・池の埋め立て・土壌の入れ替えを求める要望書	採択
陳情第8号	重末蔭地区林道開設事業について	採択
陳情第9号	市道ウマバ学校線の改良について	採択
陳情第14号	東祖谷地区 西山谷支流の崩壊防止及び早期改善を求める要望書	採択



委員長 西谷 清

産業建設常任委員会報告

●議案第79号について

【問】「施設名・三好林業総合センター」、「指定管理者・三好西部森林組合について」契約期間が2年になった理由について。

【答】三好西部森林組合から、林業総合センターを事務所として一部使用したいという旨の申し込みがあり、林野庁と協議をし、承認を得て手続きを進めている。センターの使用方法が一部変更になるということ、今後どうい

●議案第85号について

【問】「施設名・大歩危観光拠点施設プラス大歩危」、「指定管理者・株式会社山城しんこう」契約期間が2年、指定管理料を削減した理由について。

【答】施設の業績が右肩上がりに上回っており、いち早く指定管理料を受けない独立した経営を目指したいという会社の意向があり、今回2年間の指定管理の契約期間となり、管理料についても削減となった。

●議案第87号について

【問】買ってみたという商品、ここにしかない特色を生かした魅力的な新商品を、大歩危妖怪村など地域の皆さんに御協力を頂いて開発している。

【問】落合重伝建地区の空き民家再生活用事業（活力創出基盤整備事業）の計画について。

【答】落合重伝建地区の空き民家8棟の改築を計画しており、今年度から2棟つづ改築して、観光まちづくりを進める事業である。今回の補正予算で二棟目となる工事対象の空き民家は、床面積が115平方メートルあり平屋建てをカヤ葺きの屋根に改築し、宿泊等に利用できる施設に改築する事業である。

【問】対前年比で非常に大きな伸びを示しているが、入場者が増える中で、商品を買ってもらうということ、商品の見直し、工夫を凝らす考えはあるか。

【答】大歩危駅の空きスペースに補助金を出すということで、空きスペースを利用して活用しようということ。また、この空きスペースを利用することについて、改築を伴うものであればどこが負担するのか。その補助金の補助率というのは別にあるのか。

●陳情第10号について

【問】バス車両購入で西祖谷・山城路線2台分で1905万6千円とあるが、購入する予定の車両は何人乗りで、四輪駆動かどうか、現在運行しているバスは、高齢者の方等が乗り降りするのに高さがあり乗りづらいが、今度購入するバスは乗車の際はどのようなになっているのか。

【答】今回購入の車両は、4WDで29人乗りのバスを考えているが、そのうちの1台は今行っている協議で15人乗りにするかどうかを決定したい。バスの車高については、今使っているバスのステップのところが高くなっているため、もう少し低いステップの位置になるようにしたい。また、観光面の利用についても活性化協議会の協議で今いわれた意見も参考にして、今後の協議を進めていきたい。

●議案第87号について

【問】くらしを支える行政サービス・人員の拡充を求める陳情書」については、反対、賛成討論があり、起立採決の結果、起立少数で不採択すべきものと決しました。

総務費、総務管理費、バス対策費について

【提言】JRの沿線で利用客の多い所なので、無人化になったあとも地域の活性化に取り組んでもらいたい。